

サクセスストーリー 事例報告フォーム

ライオンズクラブ国際協会 333-C地区

(関 宿)ライオンズクラブ 会長 L (河井 哲弥)
作成者 L (河井 哲弥)

テーマ 「 郷土愛がクラブを救う! 」

ポイント

1. 課題の発見

会員維持・会員増強が上手く言っていない。または、クラブ事業が充実していない。クラブ会員に以前より元気が無い等、課題を書き出してみましょう。

私、L河井が再入会した時点のクラブ会員数は12名、平成29年7月1日に私を含めた5名が入会した矢先、2名の先輩Lが退会し15名からの船出と成る。順調に会員増強を進めて来たが、54名の会員を束ねる為の組織作りが今後の重要課題である。

2. 課題解決へ向けた活動と計画

課題についてどう考えて目標や計画を立てましたか？

1年任期の3役ですとクラブ運営等の改革を実現できない為、各委員会の活発化の為に、場合によっては役職の留任も有り得ると明確化し、更なるクラブ強化を図って来た。

3. 実行した結果、どんな成果が出たのか

計画は順調に推移しましたか？課題が解決されてどの様な成果が出ていますか？

各委員会の活動と意見を尊重する事で、クラブ全体に活気が出て来て、各会員に欲が出て来たと思う。(目標)各委員会が活発化する事でクラブが強化されて来たと感じています。

それでは、あなたのクラブのサクセスストーリーをお聞かせ下さい。

※400文字以上～A4 1枚以内でお願いします。※

提出は所属複合地区事務局 GMT コーディネーターへメールでお願いします。

サクセスストーリー

私が関宿ライオンズクラブに再入会し、現在会員数53名のクラブ会長になるに至ったきっかけは、関宿ライオンズクラブ30周年記念式典にお招き頂いた事からでした。

懐かしさから式典に参加させて頂いた中でチャーターメンバーであった私は結成当時21名からスタートした関宿ライオンズクラブが、12名まで減少していた事に衝撃と寂しさを覚えました。

われらの郷土関宿町は2003年に野田市と編入合併しており、『関宿』の名の付いたクラブをこのまま衰退させてはいけない、郷土関宿の為にもう一度奉仕しよう。そう私が決心したのはそんな気持ちからでした。

2017年7月、私と、私の想いに賛同してくれた同士4名とで入会した関宿ライオンズクラブ。

当時私達5名が入会すると同時に2名の先輩が退会、15名からの船出となりました。

私は入会直後から、会員増強の重大さをうったえ、先輩方の理解、協力も得られ徐々にですが会員も増えていきました。15名が20名に、20名が30名にと着々と成果も上がってきている中、関宿ライオンズクラブに転機が訪れます。2019年9月と10月に我々の千葉県を襲った台風15号・19号です。千葉県内でも様々な地域が被災をしましたが幸い関宿地域は甚大な被害も出ませんでした。そこで我々関宿ライオンズクラブに出来る事は何か、こういう時にこそ奉仕の力を。そんな想いで私が先頭に立ち、災害支援で被災地入りする者を募りました。会員はもちろん、会員の同志たちの協力も得られ被災地入りする事が叶い、9月22日に15名で現地入り、16棟の屋根へのブルーシートを張る事が出来、被災された方々のお役に立つ事が出来ました。また、10月14日に、新たな同士も含め23名で再び被災地入りし、屋根へのブルーシート張り。土嚢の運搬等をさせて頂きました。

復興も落ち着きを見せてきた頃、私は当時甚大な被害を目の当たりにし、これが郷土関宿でも起きていたら・・・今後の奉仕活動への意義を考えさせられました。災害支援に率先してくれた会員やその仲間たちと話し合いを重ね、災害支援を通じ関宿ライオンズクラブ支部の設立を決めました。

2019年12月、関宿ライオンズクラブイースト支部結成、15名入会、私の想いに賛同してくれた同志達がまた、我々の郷土、我々の仲間の郷土を色々な意味で守る為に集結してくれました。

郷土を守りたい、郷土関宿の為に奉仕がしたい。15名から再出発した私の関宿ライオンズクラブ、現在53名、まだまだ郷土関宿を守り続ける為には会員増強が必要です。

郷土愛はクラブを救うのです。